

NIPPON PRACTICE 2

Presented by NikuRingo (Beef & Apple) 2008/12/30 In Winter of Comiket



成人向
同人誌



★注意★

この作品中で行われるプレイは
想像により誇張されたものです。

実際に行うと身体に損傷を与える恐れがあります。

★この作品はフィクションです。
物語上行われる行為などを現実に実行する事は
犯罪となる恐れがあります。

☆はじめに☆

どもども兄弟です。

さて今回のオフセット本
「日本PRACTICE2」
ネタは初？のジャンプマンガ
「ワンピース」でゴザイマス。
気付けばもう、10年以上連載が続いてるんですね～

んで本編は、前半が弟の、ナミ&ロビンの連画
後半は兄の、ビビイラスト&テキスト
といった構成になっております。

今回も、ネタに迷ったあげく
「ワンピ」なら良いんじゃない？
ってな流れになったんですが…
当初は、果たして「ワンピ」でエロエロちく
できるかな～？ と、ちょっとした心配も
ありました。

で、結果エロいかどうか、は手に取った方に見て
というか、感じてもらうしかないんですが。

まあ結果的に、自分たちの的にはエロエロツと
いつものテイストで楽しめました。

あとは皆さんのエロライフのお役に立てれば
幸いです。

ほんじゃまたあとがきで☆

カクガリ兄弟
2008/12/30

(入稿終わったら兄弟で『レスキューフォース劇場版』
を見に行く予定☆ が、レスキューが必要なのは
今、入稿前の自分達だったりして……)

グフフッ…
ついに来たかッ！
オレ様の出番がッ！



*今回このキャラクターは登場しません
(ネームノートから抜粋)

長い旅も今日で
しばしお休み…

私…ナミとロビンさんは
この島に停泊中の二隻の
船へと向かった

ホラ見て…
あの船よ

わおッ!
デカイわね

ええ、さすが
海軍様ね

ゲイリー提督率いる海軍第42師団
通称「ボーイスカウト」
提督の趣味から発足したと言われる
18歳〜24歳までの禁欲的色男が
半数以上を占めるアイドル部隊である

私とロビンさんは、この船で行われる
定期健康診断に女医と助手に
成りすまして潜入します…

さあ ハメを外しに
行きましょうか

かつ…海軍に…

スツ…スリル
ありますね

そう…ハメを外しに…

うかつ♥診察なんて
色男を見つけた手段よ…
気に入った子は…こんな風に
特別診察しちゃうんだから♥



んぐんぐんむう…ふあ…
ホラホラッ…こんなにして…
欲求の溜まり過ぎよ

んぐん♥

そっ…そっですかっ

んぐんぐん



んぐんちゅっ♥…そっよ
んぐん♥…たっふさん抜いて
んちゅんほっ♥オチンポ
スッキリさせてあげるわ♥

アアッ…
ハイッ!

チュルルルッ

アアアア
アアッ!

んぐん…どっしたの?
キンタマ腫まれるの
そんなに良いのかしらあ?

クアッ!
ハイッ!

ふぐんこんな事で感じるなんて
禁欲生活長すぎじゃない?
それとまただの…変態さんなの
かしらっ?

ゴリッ

ア—ッ!
駄目エ—!

ふぐん…良いのキキンタマ
プレスでイッてもッ♥
ほらッイキなさいッ
キンタマでイキなさいッ!

クアアッ!



んあッあふん♥
ホラッ…オネーサン
のエッチなお顔にタップリ
溜めた濃厚のザーメン
出してッ♥

アアアッ
イクッ!

んぐん…んぐん♥
濃っ…濃っ♥
濃っ♥

アアッ出ますッ…
お姉さまッ!

んぐん…
キンタマ汁—ッ
んぐんんぐん♥

アアッ
アアッ

フツ…普段の私達からは
想像もつかないエッチな姿でしょ
その正体は極度のザーメン中毒患者
ザーメンフリークなのよ♥

特別診察は時に
男の子達の好みに合わせ...

ハア

んふっ 駄目よ
そんな所に出しちゃア

タタでさえ腋汗で
すっく黄ばんでるのに
もつと汚れちまじやない
恥ずかしいわ

ゾクゾク
ゾクゾク

あはんツ
君達の精液のニオイで
お姉さんの腋臭
もつとクサクならちやア
...んふふふツ

ハア

ハア

Robin

ホッソツドツツ
オネーサンの蒸れ蒸れの
足のニオイは？
すっくクサイでしょア

エロツツ

ハア

アアツ...んフーツ
ハイ...最高ですツ

んふふツ...クツサイ足のニオイで
チンポキンギンに勃起させるなんて
海軍男ってホント変態が多いのね

アアアツ

そうよツ 良いわマン男ツ
お姉さんのウンコ穴
しっかりと舐めなさい

んんんんんんんん

あら...
ウンコ穴舐めて
チンポ立てるなんて
君は恥ずかしい子ね

んんんんん
ハイッ...

ほりッ...ウンコ穴からオナラが
出るわよ...しっかりとその舌で
味わいなさいッ...のマン男ツ!

んふっん

あらあらツ 相チンから
白い汁垂らして...ホント
海軍男は変態そろいね
フフフツ

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

んふっ♥君はパンツ被ったお姉さんに興奮するのね
フツッ…好きよフツッの

ドキ



ホラッ…もっと興奮してえ興奮して濃いザーメンを吹き出すのよッ!

ほら見て パンティの中央の黄ばみ
ここからスググエッチなニオイがするのよ♥

ふっ君の汚ったないブリーフ
ニューチューして興奮する
オネーサンはどっかして

ツクン



んふっ…んちゅっ…んっ
長い海上生活で汚れた「の
カヒカヒの部分から濃い
ザーメンの味がしてんわわっ

んふっ

ほらッー出してッー
君の新鮮なザーメン
オネーサンに出してッー



アハッ♥ 君達のクツサイ
ザーメン最高よ♥お姉さん達に
もっとフツッかけてえ♥

んはっ♥んあッ…んはっ♥
禁欲男達の童貞同然濃厚ザーメン♥
ネチネチのクツサイザーメン美味ッ♥

ほらッ ザーメン中毒の
下品なおネーサン達を
見てフツッのよッ♥

ぶあッんあッ
海軍男の溜めに溜めきった
特濃ザーメン最高ッ♥

そっ…

フツッ

もっと出してッもっと汚してえ
みんなの溜まった汚物ッ
オネーサン達に吐き出して♥

んふっ

んふっ

んふっ

んふっ

んふっ

時には私達の好みで
特別診察は行われるのよ
フッフッフ…♥

お願いします
お願いします

可愛くてそのケのある子を
私達流に染め上げていくのよ

♥ ナミちゃんの男の子チェック ♥
第42師団 通称"ボーイスカウト"
そのポイントといたら、やはりカワイイ男の子
だけが着用するピチピチのセーラーよね♪
短い丈から覗くセクシーな腹筋、ムチムチの
ショートパンツ越しにもわかる、存在感のある
オチンチンのか・た・ち…キャ♥
さらに、キュンと立ってるエッチな乳首!
お値段にするなら、100万ベリー相当のプレシャスよ♥



じゃあ、早速
はじめましょう

ハイ…お願いします

おほっ…スツゴイ汚れてるわね
これは診察しがいがありそうね…
ふんふん♥



これはかなり重症な
欲求不満患者ね…
クツクツクサイワッ

ナミさん…
診察をお願いね

リョーカイツ♡

ほーらボウヤ、
オネーサンが特殊な診察器具を
付けて調べたあげるわね♡

ふふっ…コレを付けた方が
病状をよく嗅ぎ分けれるのよ
ふふっ♡ イタダキマッス♡

んふっ…とは言っても
この診察器具はただのお飾り、
私達がブタ面になるとスツゴク
興奮するからなだけどね♡

アアッ…そんなの
付けて調べるんですか？

んおっすっすっすい
コレすっすくクサイッ
フヒーッ♡

アアッ…オネーサン
そんな顔で診られると
なんか…恥ずかしいッ

んふっんふっ…
そんな恥ずかしがらないで…
それともブタ面でクツサイイオイ
嗅ぐオネーサンの方が恥ずかしい
って事かしらっ…ッラフッ♡

ああ、それはッ…

ンフフフフッ
海男の溜めに溜めた
キンタマ汁のニオイがこの
カピカピの夢精汚れに
濃縮されて…

んふっ…先生コレはかなり
クツサイッ…先コレはかなり
重症の欲求不満症ですわッ





あんツ スッゴイ
熱のこもった診察ね！
私にも嗅がせてえ！

どれどれえ！
ンフッンフッ！
クサツクサイわよっ！
ホントにクサイわっ
この汚パンツウ！

どれだけ夢精したら
こんな濃い匂い！

あまりのクサさに
フタ鼻が曲がりそうよ
おほっ…ニのキンタマの中に
スッゴイ濃いザーメンが
溜まっているのね



ふふ…どうしたの？
こんなにバキバキにオチンポ勃起させて
お姉さん達にクサイパンツ嗅がれて
興奮しちゃったのかしら？

それともフタ鼻おっぴろげで
クンクンとクサイ匂いを嗅ぐ
下品なおネーサン達に興奮
しちゃったのかしらあ？

ハアアアッ



んあっ…

ハッ…ハイッ！

あらあらキツチな子ね
フタ鼻お姉さん達で
興奮しちゃうなんて…
フフフッ！





アアアアアッ!!

駄目エツ出ちやうッ
ザーメン出ちやうッ!
勃起チンポから
ザーメン出ちやいますッ



ああんッ...ふっかけてえ
プタ鼻オナーサンにクッサイ
ザーメンぶっかけてえッ

おほおっそうよ
プタ鼻に...鼻の穴に
直接出してえ

オオッホッホッホッホッ
来るッ来るッ...雄臭来るッ!
ザーメン鼻洗腸で鼻アクメ来るッ
プタ鼻アクメ来るッ

んおっ...クサイッ...クッサイ
航海で溜めたメス男のキンタマゼリー
すっくくクッサイッ

ああアクメ来るッ!
ザーメンアクメ来ちゃう

プタ面にクッサイザーメン
浴びて...ザーメンアクメ
来ちゃうッ

んほおおっ!!

ンヒックサイクサイクサイッ
クッサイザーメン臭が脳みそ
貫通しちゃうッ
おほおップタ鼻ザーメン最高ッ
プタ鼻アクメ最高おッ

おほおおッ



ふふ...ふふ...でも
濃くて素敵だわ

わおっ下品

ふふ...可愛い子のザーメンって
最高ですね

ンンンン



オウツ！なんだあ
この偽造パスポートはあツ

こんなチンケなので
よくもこのゲイリー提督を
騙してくれたじゃねえかツ！

しかも、うちのカワイイ
男の子きゅん達に
手を出しやがってッ

…つかまんでオレを
呼ばねーんだあ？

…それは提督が
フサイクだからかと
悪いマッスル

チィッ！そんなに男のが
大好きなら…この第42師団の
フサイク組全員で相手して
やるからなッ！

覚悟しろいッ！



母軍の大半が食われたらしいぜッ
…だく母軍の9は特だぜッ

クソッ…俺等フサイク組の
カモ目せめておらうぜッ

ハア

ヒキ

…フサイク組の42師団は
隔離してあちこち捕まわされて
だまッありや

ほら、おっぱいの下品な腋毛
それに腋汗がキラキラ落ちて
いやらしいぜッ

ヒキ

フサイク
フサイク
フサイク
フサイク
フサイク
フサイク
フサイク
フサイク
フサイク
フサイク

わおッ！ヤッバー！

…こんな事ならオシッコ
行っておくんだっ！

あはんッッ
どうなるのかしら…

笑っていられるのは
今のうちだ…

クロー…

この鯨をもトロけさせる
海軍特製の媚薬で
天国を見せてやるぜ

そして、海軍は私達にエッチな拷問を執拗に繰り返したのよ

グアアアアアッ
オマンゴイクッ
またイッチャウッ

ククッどうだ？海軍拷問
リール巻き責めは
情けのフンドシと縄の娯楽が
程よく苦痛を快楽に
変えてくれるだろっ？

駄目エツ見ないでッ…
漏れるッオシッコ漏れちゃッ
イキながらオシッコ漏らしちゃッ

んあああああッ

もっと速くッもっと強く
オマンゴ擦ってーッ

イクーッ！
またイクーッ！
オマンゴ擦られて
何回でもイッ
ちゃうッ

ンアアアアッ

オーラ メス隊共
オール打ちで何回イッてやがるッ
まだ200発も打ってないぞッ

あああッ
駄目エヤダッ
そんな叩いたら
またオシリで…

クククッ デイルドウのせい
か
もっと打って欲しいみただなッ
ケツを突き出してモノ欲しそう
にしゃがんで…

ソラッ
ケツで何度でも
イッチまいなッ！

あああッ 駄目ヘッ
またオシリでイクッ

んあゝもつと 叩いてッ
もつと叩いてイカせ下もッ
ケツ打ちでケツアクメ
させてちよっだいッ

へへッ
こちらのネーチャンは
オール打ちにすっかり
ハマっちゃったよっだな

ゲヘヘッ
コリヤとんでもない
ブタ女だッ



★カクガリ弟のかく語りコーナー

さて、今回もプラクティスシリーズと言う事で
やってみたいネタ・実験したい効果などを試してみました。
皆様のオクチに合う・楽しんで頂ける・ココロが
少しでもあれば嬉しいですよ。

「ワンピース」ネタは、以前から読者さんの声もありまして
いっちょ、ヤッてみっかーって感じでやってみました。
ワンピースの持つ、雰囲気「っぼさ」が出るように心がけましたが
いかがでしょうか？

「海軍で遊ぼう」

この作品は漫画ではなく、もっと大雑把に
ストーリーの流れ切り抜いていく感じの連画という方式で制作しています。
イメージとしては、エロビデオのダイジェストムービーみたいな感じでしょうか？
無論、部分的に漫画要素を取り入れてるため(吹き出し・枠線など)
漫画っぽく見えるかもしれません

ぶっちゃけ、今回のスケジュールがあまりにもタイトだった為
ネーム制作・1ページあたりの制作に手間のかかる漫画ではなく
この連画という方式で制作してみました。
(それでも手間がかかって、キュキュウだ～w)
本当は、漫画にしたかったんですけどね～。ホントに…時間が…グハッ

エロ展開としては、散々エロイことしまくった淫乱オネーサンが
捕まってエロイ陵辱を受けてしまい、最後には
エスケープするってのがミソですよ。
当初は、ロビンオンリーでネタを考えていたのですが
「ナミ・ロビで女医ネタなんてどうだい？」
…と、ふと天の啓示がありまして… 最初の頃は
それはナイよな～と思っていたのですが
当初、海軍兵(少年)が出ていたのも手伝って
「じゃあ、海軍に女医として潜入～ッ」って感じで
アレヨアレヨと決まっていきました。

フロントは淫乱女・マゾ男物、後半は淫乱女陵辱ものという
エロ状況に「転」が存在する、ある意味「起承転結」モノが
出来てしまいましたw
オイラ的にはドストライクな展開です…ある種スパイもの
みたいじゃない…。

エロの内容に関しては

ブタ鼻の女性に奉仕してもらってのが
スキスキの実なので満足ですが、皆さんは付いてコレテ？
あとは悪さをした淫乱女陵辱って感じの展開はやっぱ好きだね～。
いつもと変わらない感じの展開に頭を抱えたりしますが
まあ…好きなのよね～♪

あとは少年ではなく、青年をイジメるのに初チャレンジ
基本路線がマゾ男モノなので、少年だとブレるかなと思ひ
それなら、いっそ色男になって感じで…。
ただ青年を色っぽく・艶っぽく描くのは難しいですね～。
女性作家の描く青年とは雲泥の差だ…もっとボーイズラブで勉強しないとね(オイ
まあ、基本腐ってますので…w

それよりも、情報を怒涛の津波のごとく詰め込んでしまうのがアレですな。
むしろ連画方式の方が、漫画に比べて情報の詰め込みが多い気がします。
まあ、うるさかったら読み飛ばしてちょ。
オイラ自身エロの山盛り全部乗せが大好きなので、ほんとツイツイ
盛りすぎ全部乗せしちゃいます。(だから、時間かかるんじゃ～)

結果、皆様が「うわッ下品だねコレッ!!!」とか思って頂けたら
成功しているってことでしょう…。
無論、好みに合う合わないはあると思いますが
まあ、オイちゃんはこの作品でポツキしちゃおうと思って下さい。



←↑手慣らして描いたロビン
(落書き帳から・ペン画)
思ったよりサクッと描けたので驚きでした。



↑ネーム時の青年スケッチ(ネームノートから)
こっちの方が艶があるから、オイちゃんがつくりしちゃう

☆カクガリ兄の各語リコーナー

さて今回のネタ『ワンピース』は、
もちろん馴染みは深いモノの、
自分的にいまいちエロの対象としては
考えたことがなかったモノで、
プロット段階から取っ掛かりを掴むのに
かなり悩みました。

で、結局自分なりに一番好きなキャラ
(エピソード)から膨らましていったんですが……

気に入っていた、娘ラブなアラバスタ国王を攻め手に
したら、王様らしい口調って、「フッ」とか意外と語彙選択
の幅が少なく、受け答えが似ちゃうのがどうにも……
テキストも詰まりすぎなんで、今後はいろいろ考え
ないとなあ、と思いつつ、ビビをニオイフェチにできて
楽しかったです。

でもって、
原稿製作の前に、もろもろ確認のため、改めて
単行本確認したら……

あれ？ アラバスタ編完結ってもう6年以上前なの？
っていうか、現行50巻越えてる原作の、23巻って……
もう昔話レベルやん！

かなりショックでした……
つい最近の出来事かと！！
α (いや、そりゃ言い過ぎw)

ま、考えてみりゃ空島もcp9も、
かーなーり長かったもんナア……

でも読み返して、改めて思ったのは
「ワンピ面白れエ！」というのと……
「伏線が長い(上に多いw)」

ビブルカードなんて、すっかり忘れてたよ
アタシやあ……

なんにしる愉快的(デザイン的にも)
キャラがとにかく、むやみに多いんで、
昔の『キン消し』みたいに低コスト・大量
ラインナップのおもちゃがでないかしら……
出来栄の良い、高額彩色済みフィギュアも
毎回同じようなラインナップじゃつまらんですよ。
と、キン肉マンDVDbox特典のキン消し全セット
(予約済み)に想いを馳せ切望。

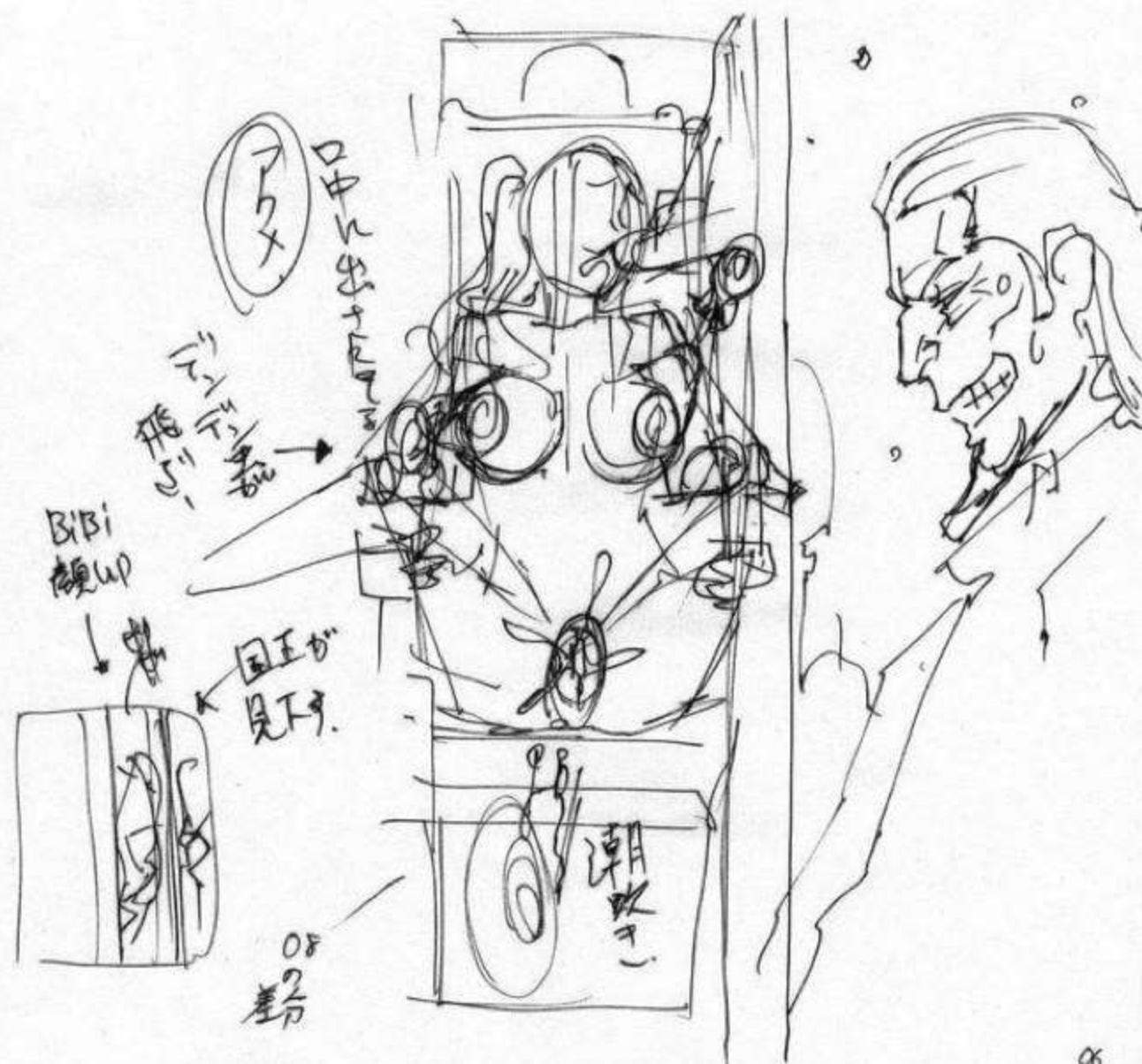
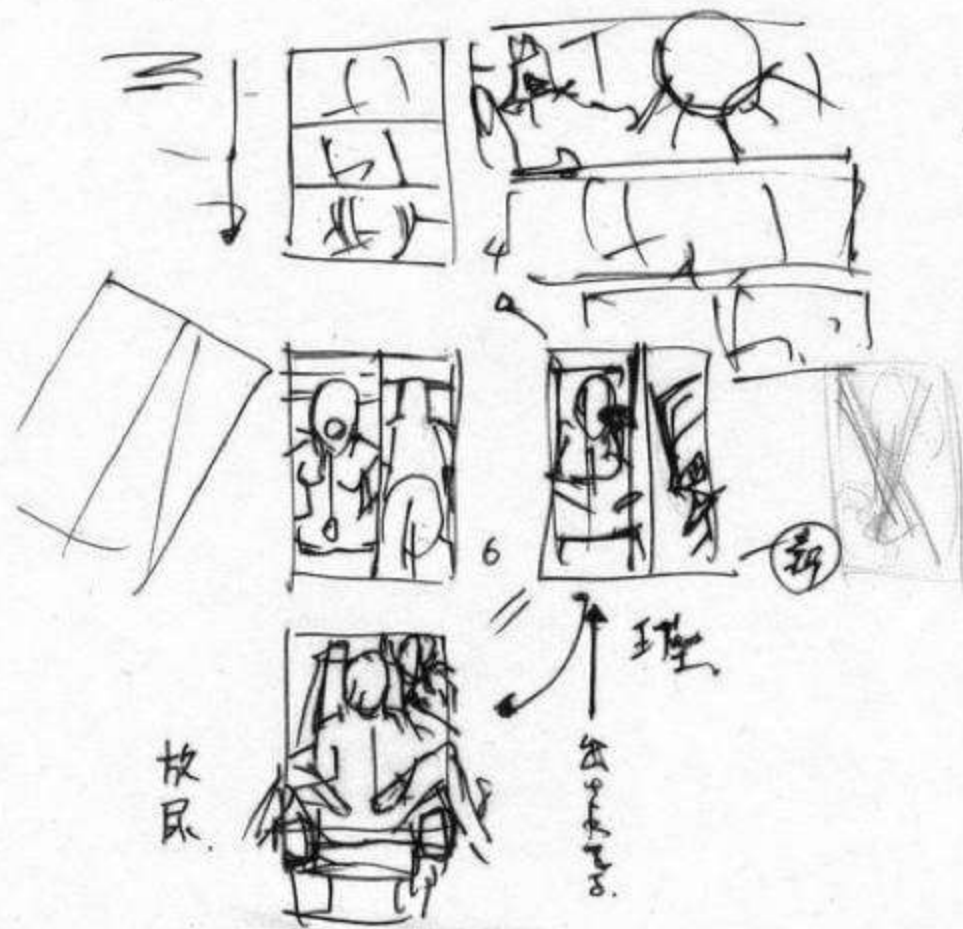


写真 → 絵... (画家に描かせろ)
昼

夜



『アラバスタ国王バンザーイ！ ビビ王女バンザ〜イ！！』

「皆ありがとう！ 王宮の修復もあと数日で程なく終わる…
しかし皆があつての王宮、皆があつての王国だ！」

『オオ〜ッ！』

「修復完了に併せ、先だって立志式を終えた我が娘、ビビ王女の肖像画も完成する。
この掲揚式をもって、わが新生アラバスタは新たなる歴史を歩み始める！！」

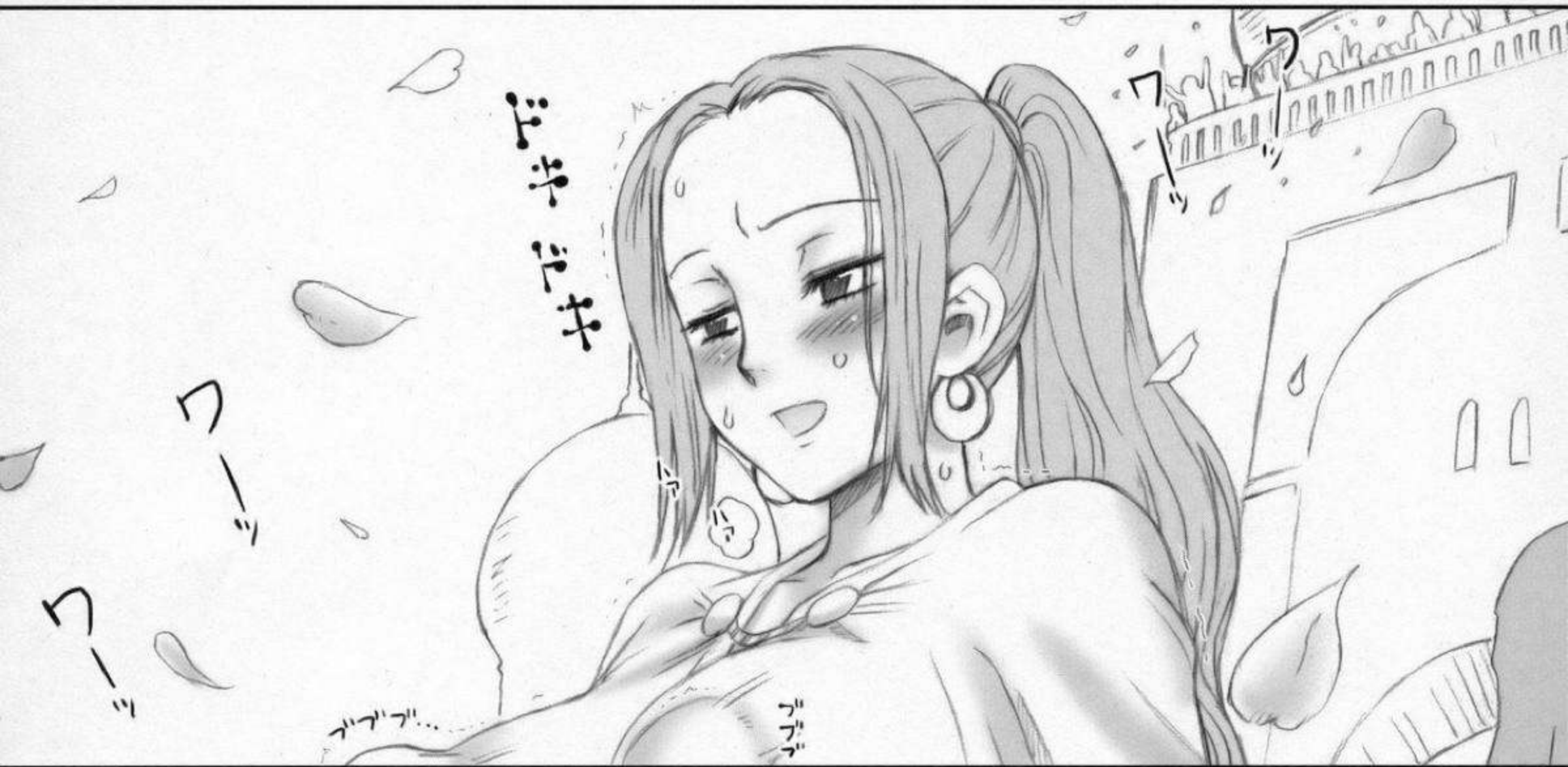
『オオ〜ッ！』

「さ……ビビ、お前からも親愛なる民に挨拶を」

「はっ……ハアハア……はい……」

「どうしたビビ？ 身体が震えているぞ……ふふっ、ホラしっかりしなさい、皆がお前を見ておるぞ」

「みんなが私を……ハアハア……見てるうツ……ハアハア……」



「みっ、みなさんツ……ハアハア……おっ、お元気ですかっ？ ああんツ♪」

『オオ〜ッ！』

「宮廷画家よ、ビビはまだ何かと忙しい。肖像画の作成は、私の用意した写真を元に頼むぞ」

「ハッ、心得ております。お美しいビビ様を更に魅力的に描く為にも、
最高のお写真をご用意頂けますよう……」

「フフ、わかっておる。可愛い我が娘ビビの……最高の笑顔写真を写真に収めてやろう……」

「み、皆さん……私の肖像画っ……はあはあ……たっ、楽しみにしててくださいねっ…
…あツ♪ ああんツ♪」

「ビビ、何だ昼間のあの挨拶は……声も身体もあのように震えては、王女の威厳も何もあったものではないぞ」
「あっでもっコレじゃ……」
「ん？ 何だ、王女ともあろうものが言い訳か？」
「んっはあッ……ごっごめんなさい、お父様……」
「ふふふ、仕方の無い子だ。言い付け通りマントの下は昼間のままだろうな？
自らマントの前を開いて…お父様に見せてごらん？」
「あッ、はっはいお父様……ああ……」

「どうだ？ 新世界から取り寄せた《性感バイブレーション電伝虫》の具合は……」
「あッあッはあんっ……」
「あちらでは性処理奴隷の調教に使う様だぞ。いかなる聖女も貴婦人も、一度これを装着すれば、
たちどころに肉欲の虜と化すそうだが……王女であるビビはどうか？」
「あッハアッ……ダメっ……これダメえッ……」
「やれやれ、一国の王女ともあろう者が、はしたない牝の如き鳴声を上げおって」
「あッだってえッ♪ コレすごいッスゴイんだもんっ……はあはあ……ああんっ♪」
「昼間もずいぶん興奮していた様じゃないか……国民の前で密かにイタズラされて、興奮したんだろう？
快樂にうち震えるお前の、紅潮した顔を、うわずった声を、皆が見聞きしていたぞ？」
「ああッいやあッみんなにッ見られちゃった……私のおッ感じる顔……見られちゃったあ……んっ♪」
「思い出して、またゾクゾクと興奮してきたのか？ この、真性マゾ王女め……ホラ、手が下がってきているぞ？
しっかりと前を開けろッ！」

「ああアッダメえッだって……恥ずかしっ……いくら真夜中だって……王宮のテラスでこんなカッコ……」
「いい格好じゃないか、マントの下の全裸に……乳房と陰部に、こっけいな性感玩具を着けてw そら、そのまま露出
散歩して、テラスの正面に向かうんだ。式典のために広間から玉座を移してある。そこまでその格好で歩きなさい」
「あッこんなものッはあはあ誰かに見つかったら……イヤあ……」
「イヤか……嫌なら止めるか？ なら虫を取って部屋に帰りなさい。その代わりオマエの飼育も今日限りでおしまいだ」
「あっそんな……」
「ビビ、二度とオマエには触れん、可愛がりもせん」
「あくッはあッはあッ……いやあ」
「何を尻をクネらせておる？ ほら、さっさと部屋へ帰るが良いッ！」
「イヤあッ！ はあはあッ、ゴメンなさいおとうさまあはッはッ……ビビの事っ……かわいがってえッ♪ ビビのカラダッ
いっぱいイタズラして……キモチ良くしてえッ！」

「ふふ…素直で可愛いぞビビ。私のプレゼントはそんなに気持ちいいのか？ 大きな胸をふるふる震わせて…」
「んんっ……オッパイ気持ちイイッ……張り付いた虫が、ブルブル振動してッはあはあ先っぽ……乳首ちゅーちゅー
吸われて……コレすごいのおッ♪」
「すごいと言われても張り付いた虫で、私にはビビの乳首は見えんからな……ほらビビ、ちゃんと乳首は勃起してる
のか、私にもわかるように口に出して報告しなさい」
「あっはいッ……してますッ、ちくびッポッキしてますッ♪ コリコリこりこりッ！ すっごいかたくなって・あっだめっ
そんなに吸っちゃッ・乳首ッ・ちくびッ・伸びちゃうッ☆」

「ホラ！ 立ち止まらずにしっかり歩きなさいッ！」
「だって……ああんっ」
「そのヨロヨロした歩き方では、下の方も相当良いみたいだな、ん？ 股間の……マンコの具合ははどうなんだ？」
「あっはっ……オマンコはあッ、おまんこ全体に虫がピッタリ張り付いてプルプルして……はあんっ♪ きもちイッ♪
ピラピラのひだも全部ッ・粘膜と粘膜がこすれてッヌルヌルしてッ……きもち良イッ♪ あああんっ♪」
『ちゅるるるちゅる～ッ』
「ああんっクリも吸われてッすっごいイッ！ 昼間っからクリトリスっイジられっぱなしでッ、頭おかしくなっちゃうッ！」
「ふん、ずいぶんズブ濡れの様だな……こちらまでプ～ンとマン汁臭が、メスのニオイがプンプンするぞ」
『クセエ～クセエ～』

「そんな、電伝虫にまでッあッはあッ……いやあんっ」
「あはは……虫にまでマンコのニオイ臭がれて、バカにされたな」
「いやあ……はあ～っんっ……ねえお父様……ハアハア……お父様のも……臭がせてえッ……」
「ふふ、仕方のない奴だ……ほらもうすぐ玉座に着く。ゴール出来たら、褒美をくれてやる……ほらしっかり歩けッ！」
「はッはいッ……もうすぐっ……おちんちん……はあはあ……チンチンッおちんちんッはやくウッ！」



「よしビビ、ここまで良くガマンしたな……ほらご褒美だ」
「んチュツ……あつ、クサッ! イヤだっ……すっごいニオイっ……」
「ふふふ、今日のためにここ何日も風呂に入っておらんからな……ヒドいニオイだろう?
嫌なら止めてもいいんだぞ?」
「いやあッ、やめない……んっ・プチュツ! ンツ・ンツ・ムグツ……ちゅちゅちゅちゅちゅ~ツ☆」
「コラこら、はしたない……少し落ち着きなさい」
「んチュツ……ムグツ……ちゅツ・ちゅツ……」

ちゅぱッ☆

「はあはあ……だあってッ」
「ふふ……そのウツリとした表情……さんざん汚れた、チンカスだらけのイチモツに、可愛い
カオでほお擦りしおって」
「だってえッ、最近ちっとも……私のカラダっ・イジってくれなかったからあッ……
このオチンチンっ・くれなかったからあッ……」
「仕方無いだろう、王たるもの色々忙しいのだ……お前だけにかまってる暇など……」
「ウソつきッ! ……はあはあ……じらしてたクセにいッ……イタズラして欲しいの……
分かっててッ、ワザとしてくれなかった癖にい!」
「フン、だから父親の汚れた下着を盗み出して……夜な夜なひとり遊びにふけていた
という訳か?」
「え? なんで……」
「ベット下に仕込んだ電伝虫から全て聞こえていたぞ……毎夜はしたない声で、吐息混じりに
私の事を呼ぶのがなw 父親のシミ付き下着を咥えながら……それをネタに自慰にふけるとは、
本当に救い様の無い……スケベな娘だなw」
「んツ……そうしたの……私の事ッ、スケベにしたのお父様のクセにい……そうですっ……
ビビはあ・お父様のツ・パンツのシミにしゃぶり付きながらッ……それをオカズにオナニー
してましたあッ……はあはあ……ビビはツ・オチンチンが大好きなあッ・はしたないッ、スケベな娘
ですうっ……」

はぶっ☆

「うおおッ、いつにも増してッ、スゴい吸い付きじゃないかッ」
「んツ・ふっ・クサッ・んぶツ……お父様のツ……ズルツ・ちゅツ・汚ちんぽッ・すっごいッ・くさいッ♪
んツ・じゅちゅ~ツ」
「ほらッ、こっちを見なさい! 汚れたチンポ美味そうにほおぼる顔を、よ〜く見せるんだッ!」
「んもうッw お父様のえっちなッ……ふぁいッ……ズちゅ・ズズ~ツ……見てッ……
んぐツ・んちゅツ・ビビのえっちなあッ……んちゅツ・んぶツ……チンチンしゃぶるお顔みてえ♪」
「ははッ・どうだ? チンポうまいかッ?」
「おいひいッ♪……んぽッ・んちゅツ……しょっぱいオチンポッ……んぐツ……クツさいオチンポッ
おいひいッ♪」
「クツ・夢中でしゃぶり付きおって……そんなにコレが欲しかったのか?」
「んツ・んんツ・欲しかったですう・くっさいオチンチンがあッ・欲しかったのおツ☆」
「フフッ、キツイニオイの、汚れたチンポが大好きとは……ビビは本当に、とんだ変態王女だなw」
「んんツ・クサいのすきいッ・しょっぱいオチンチンっ・だあいすきいッ♪
くっさいチンポッ・嗅いでるだけでゾクゾクするう・アタマの奥とツ……はあはあ……
オマンコの奥がしびれちゃうのおツ♪ んぽッ、ズツチュ・むっちゅ……ずずずずッ! ズう~~ッ!!」



「ふん、その様子じゃアルフィ君達と旅している時も……そのスケベなカラダを持て余して、若い男達のモノを
啜えまくっていたんだろッ！」
「んっ・そんな事ないっ・お父様以外となんてッしてないっ・んっちゅ・ズズッ・ビビが好きなのはあッ・このチンポだけっ・
お父様のチンポだけなのおッ♪」
「ん？ コレか？ このチンポかッ？」
「んぶっ・そうコレえッ・ちゅっ・ズズッ・このチンポおッ♪」
「ふふッ……夢中で父親の汚れたチンポに吸い付きおって……そのウツリとした表情、皆が見たら何と言うか……」
「だめえッ！ はあはあ・ビビの恥ずかしい所も・イヤらしい姿もッ……見ていいのはお父様だけなのおッ！」

「ん？ どうしたビビ？ さっきよりも随分カラダが震えてきた様だが……」
「んんんッ・イッ・イキそッ……」
「何？」
「もうッ・ビビのおマンコッ・はあはあ……イキっそうですッ！」
「どうした？ 昼間からずっと我慢できていたのに……こんな改造電伝虫どもにイカされてしまうのか？
ダメだ、ゆるさん」
「だって、だってえッ……興奮しちゃったから……お父様のオッ・くっさいオチンポお……ムチュッ・ズズズ～ッ……
おしゃぶりしてッ・コーフンしちゃったからあッ！ おおんグッ！」
「ならチンポを口から離せば良いだろう……ホラおしゃぶりをやめなさい」
「ああんっ・んっぐッ……イヤあッ……」
「わたしのチンポが悪いのさ？ ホラ、早くッ！」
「あッ・はッ・ウソですっ……お父様のせいじゃないですッ……ごめんなさいっ・ビビが勝手にい……コーフンしたからっ
……お父様のッ・くっさいチンポかってにオマンコ感じちゃったからッ……ビビが悪いのおッ」
「そんなにキモチいいのか？ 愛玩用の虫でイタズラされながら臭い汚れチンポ掃除するのが……
なんだ？ このままイキたいのか？」
「ああッ……このままイキですッ・お父様のッ・くっさいザーメン口に出されてッ……
クサいの飲みながらッ・電伝虫にイジられてイっちゃいたいのお……このままイキたいですッ！」
「なんだ、私の可愛いビビは虫ごときにイカされてしまうのか？ ビビの身体をイカせていいのは私だけのハズだろう？
それを虫けらなんぞにいいようにイジられて……私でなく虫にイカされたいのかビビッ？」
「あッ・はッ・だって……はあはあ……ごっ・ごめんなさいっ……じゃあイクのやめますっ……虫も取りますッ」
「……どうした？ 汚チンポ啜えながらヒワイな虫にイカされたかったんじゃないのか？」
「はいッ……でもおっ……お父様がイヤな気持ちになるんなら……はあはあ……イかなくていいですッ……
ビビはあ・お父様のモノだからっ……はあはあ……お父様がイヤなら……イかなくていいからあッ……
んっ・んっ・ああんッ！」

「ふふッ……カワイイ子だ……いいだろう、今日は特別に許してやる……ほら、イケッ！ オモチャみたいな虫けらに
なぶられて……イカされてしまえッ！」
「あッ・はッ・グッ・ありがとッございますッ・あッ・はッ・お父様もッ・お父様も一緒にイってえッ！
ンッ・グッ・ジュルッ・ズッ・ズズ～ッ」
「くっ・いーぞホラ、カワイイおクチにチンポ汁全部出してやるッ！ ホラ鳴けッ・スケベでカワイイアクメ声……
もっとスゴい声でイケッ！」
「あッ♪はッ♪ああんッ♪くっさいお父様のおッ・おクチ・もっとッ・もっと汚してエ♪
ビビのヤらしい声聞いてッ！ 恥ずかしい顔ッ！ イクどこ見てえッ！」
「よしッ！ 出るぞッ！ ビビの大好きなっ・くっさいザーメン出すぞオラッ！ うッ！ 飲めよッ・全部飲めッ！ くッ！ うッ！
ンンッ！！」

「んぐッ！！ キタッ・お父様のッくっさくて濃いッ……ウブッ！ あッ・すごッ……のど、ひっかかってッ……
飲きれないッ……グッ・ンブッ……ああッ……くっさあッ！ おクチのなかッ・くっさいチンポ液で犯されてるう！」
「くッ……オラッ・イケッ！ ビビもイケッ！ 見てやるからイケえッ！！」
「うんぐッ・イぐッ……オマンコいくッ♪ お父様に見られながらイっちゃうッ☆
見てみてッ！ イクとこちゃんと見てえッ！ ビビがイクとこ見ててえッ……あッ！！」

ブッ！ ピッ！ ピッ！ プシャアアッ！

「はッ！ あッ！ オマンコ汁噴いちゃうッ！ マン汁ふいて……イっちゃうッ！
ああ～～ッ！！」



「はあはあ……いつ・ちゃつ・たあツ……」
「フフ……ずいぶんな声をあげてイッたな」
「はいっ……私初めて……お父様以外にイジられて……電伝虫なんかに良い様にされて……」
「はあはあ……イカされちゃった……」
「ずいぶん盛大にシオを吹いて……今まで聞いた事無い声を上げておったぞ」
「はあはあ……だってッ・お父様のナマのおちんちんのニオイ……久しぶりだったからあ♪」

「フフッ、子供だとばかり思っていたビビが……ココロもカラダもすっかり大人のオンナに成長していた様だね……どれ父さんに、成長したビビのオマンコを見せてごらん？」
「あっ、はっ、はい……」
「どうした？ 今までしていた様にビビの大切な女の部分……オマンコを開いて、ちゃんと見せなさい」
「あっでも……恥ずかしいっ……」
「何故だね？ 幼い頃からずっと見せてくれていただろう……言うことが聞けないのか？ん？ どうしたブルブルと震えて……」
「ちがっ、あの……お・おトイレ……」
「フフ……なんだ、もよおしたのかw フフ……昔からイッた後、すぐトイレに行きたくなるクセは変わらんなあw」
「あっ……うん、だからあの……」
「いいぞ、今日はそのイスに座って……このテラスから下に向かって小便するがいい」
「下にとって！？ 神聖なる王宮から大切な国土に、皆が集まる広場に向かって……ですか！？」
「そうだよ……なに、コレは神聖なる我が国の儀式なんだよ……砂漠の国であるこのアラバスタに、恵みの雨がもたらされるように……これはお前の母さんも、歴代の女性王族は皆、やっていた事なんだぞ」
「お母様も……」
「ホラ、分かたらさっさと……早くしなさい！」
「あッ・はッ……はい……」

「そら、まずは自分でアソコを開いて……」
「はい……あッ・はッ・はあ〜ッ」
「ふふ、いつも通り……ツルツルとカワイイ、パイパンおまんこじゃないかw」
「あッ、はい……お父様がッ・毛が生えてない方が好きだって言うからッ・はあはあ……毎日キレイにしてるんです……」
「ん？ 旅の間もずっと剃っていたのか？」
「はあはあ……はいッ……ずっと剃ってましたッ……だってッ・ビビはッ・お父様のモノだから……」
「フッ……相変わらずピンク色で……生娘のようにキレイなマンコじゃないか」
「あッ・はッ・ホントですか？ はあはあ……うれしい……」
「ん？ どうした？ 早くしなさい」
「じっと見られてると……き、緊張して……あッ・お父様ッ・顔が近いッ……鼻息当たってえッ……あはっwくすぐったいッ……あんッ♪ はッ……あッ！ 出るッ！ お父様ッ・オシッコ出ますッ！
ビビのオシッコッ・見てくださいッ！」
シヨッ……
「あッ！」
シヨッ！ シヨッ！ ジョオオオおおお〜〜ッ！！
「はああああ〜〜ッ！！」

「ん〜w いっぱい出しおって……そこらじゅう小便臭くて、たまらんなあw 大事な玉座が小便まみれだぞ」
「はあはあ……はい……ごめんなさいい……はあはあ・お父様あ……あのッ……ハアハア」
「ん？ どうした？」
「あッ・じっと見られてたら……おまんこ……ムズムズしてきちゃって……それにまだッ、この奥に……女の子の大事なトコロに……オチンチン、まだもらってないですうッ！」
「なんだ、もう欲しいのか？ 先ほどイッたばかりだというのに……」
「はっ、はいお父様ッ、ビビのオマンコに入れてください……スケベなオマンコッ・大好きなチンチンでいっぱいかき回してえッ！ お願いいっ、お願いしますうッ！」

「仕方無い子だなw 良いだろう……ほら私の上にまたがって……自分で導き入れなさい」
「あっ、はい……あッ・はッ・おちんちん入っちゃう……ビビのオマンコにいッ・お父様の汚チンポ入っちゃう……ああああ……あんっ♪」



「あッ・はッ・いいッ♪ やっぱコレ良いッ♪ お父様のチンポッ・太くて・ゴリゴリして……やっぱリッ・コレ好きいいッ♪」
「今日はたくさんガマンしたご褒美に、ビビの好きに動いて良いからな……自分の気持ち良い様に、たっぷり腰を振るがいい……」

「あッ・はんッ・コレ良いッ！ ありがとうございますッ！ でもッ・ビビもッ・大好きなお父様にッ・キモチよくなって欲しいから……お父様のオチンポ、ビビのオマンコで……身体中使ってッ・シゴいてあげるッ☆ あはんッ♪」

「ふむ、今日はまた一段と激しく……スケベな声で鳴くのおw」

「あッ・いやだッ……誰かに見られたらッ・聞かれたらッ・どうしよッ……」

「ん？ なんだ？ 急にオマンコ閉まったぞ？ フフ……ほらどうだ？ 我が国の、神聖なる王座の上でッ・王の腰の上にまたがって見る景色は？」

「あッ・ああんッ♪ サイコーッ♪ 最高ですッ♪ お父様の王様チンポッさいこーですッ♪ あはッ・あんッ・はあんッ・お父様はビビのオマンコッ・気持ち良いですかあッ？」

「ああッいいぞッ！ ワシのチンポしか入っていない……ワシ専用マンコだけあってッ・相変わらず気持ちいいぞッ！」

「あはッ☆ うれしッ……」

「そのイヤらしいアへ顔と、昼間の清楚な笑顔との……ギャップもッ・最高だッ！」

「あッ・はッ・昼は清楚に上品にッ……夜は下品に淫乱にッ……これからもッ、もっとお父様に喜んでいただけるようにッ・がッ・頑張りますッ！ あッ・ひいんッ♪」

「フフ、家臣も臣民も、皆オマエは何も知らない、処女だと思いこんでおるぞ……」

「あッ♪ はッ♪ あはッ♪ そう……ですか？ あッ♪ はあんッ♪」

「そうとも、美しく成長したお前の帰りを知って、新聞に載ったオマエの写真を見て……他の国の貴族からもッ・求婚の申し込みが殺到しているぞッ？」

「あはッ・それではもっと皆様にもッ・好かれるようにがんばりますッ♪」

「ふんッ……やはり若い男も欲しくなったか？」

「イヤあッ！ 違いますッ！ 私がッ……他の人にモテればモテる分だけ……それを独占しているって……」

お父様は喜ぶでしょ？ もっと……ビビの事ッ・可愛がってッ・愛してくれるでしょ？ あッ・ああんッ♪ だからあ……」

「ふふ……カワイイことをッ！ よしいぞ、愛してやる。だからもっとッ……イヤらしく腰を振れッ！ もっとスケベな声をあげろッ！」

「あッ・はいッ・わかりましたあッ♪ あッ♪ はんッ♪ はあああんッ♪」

「良いかッ？ これからも皆の前ではオトコのッ・オスのチンポのニオイを感じさせてはならんぞッ！

それがこの国の……シンボルでありアイドルであるオマエの役目だからなッ！」

「はいッ！ わかりましたあッ！ ビビにとってはお父様だけがオトコッ・一生このオチンポだけしかいりませんッ！

だからあ……今のうちにッ・いっぱいいっぱいッ・イヤらしいコトしてッ！ ビビをスケベにしてくださいッ！」

「ふふ、今日は写真機電伝虫もセットしてある。

ビビのだらしくイク姿……イヤらしい所、一生記録に残してやるからなッ！」

「あッ・はいッ・わかってますッ！ 全部撮ってくださいッ！ ビビのはしたない姿ッ・イヤらしくイクとこッ……全部撮ってえッ！」

「よしッ！ イクぞッ！ ビビの子宮にッ！ たっぷり出すぞッ！」

「出してッ！ あんッ♪ ビビのオマンコたっぷり犯してッ！ オナカにびゅびゅッとお・熱いの出してえッ！」

「くッ！ ほらビビッ、カメラ虫見ろッ！ 中出しされるアクメ顔ッ！ 国中のッ・世界中のみんなに見てもらえッ！！」

「あッ・はいッ！ 見てえ……あッ♪ あッ♪ ビビのイクとこッ！ チンポにッ・オマンコめちゃくちゃかき回されてッ……中出しされてッ！ イクとこ見てえッ！！」

「あッ・くッ・イクぞッ！ ビビのマンコにッ・クサいの出すぞッ！！」

「あッ♪ はんッ♪ 私もッ♪ 私もイクらッ♪」

「ほら、カメラ見ろッ！ 気持ちいいんだろ？ 笑えッ！ ピースして……ホラッ！」

「あッ♪ はッ♪ はいッ♪ キモチいいッ♪ チンチン気持ちいいッ♪ あッ！ ああッ！」

「あッ！ くッ！ 出るッ！ ンッ…… うッ！ うッ！ おうッ！！」

「あッ！ キタッ！ 熱いのッ！ きたあ〜ッ！ あッ♪ はッ♪ イクッ♪ 私もおッ♪ おまんこいっちゃうらッ♪

あッ！ あッ！ あああああア——ッ！！」

「いや、それにしても素敵なお顔ですなあ〜」

「まことに見事な肖像画……ビビ様、本当にいい笑顔をしてらっしゃる」

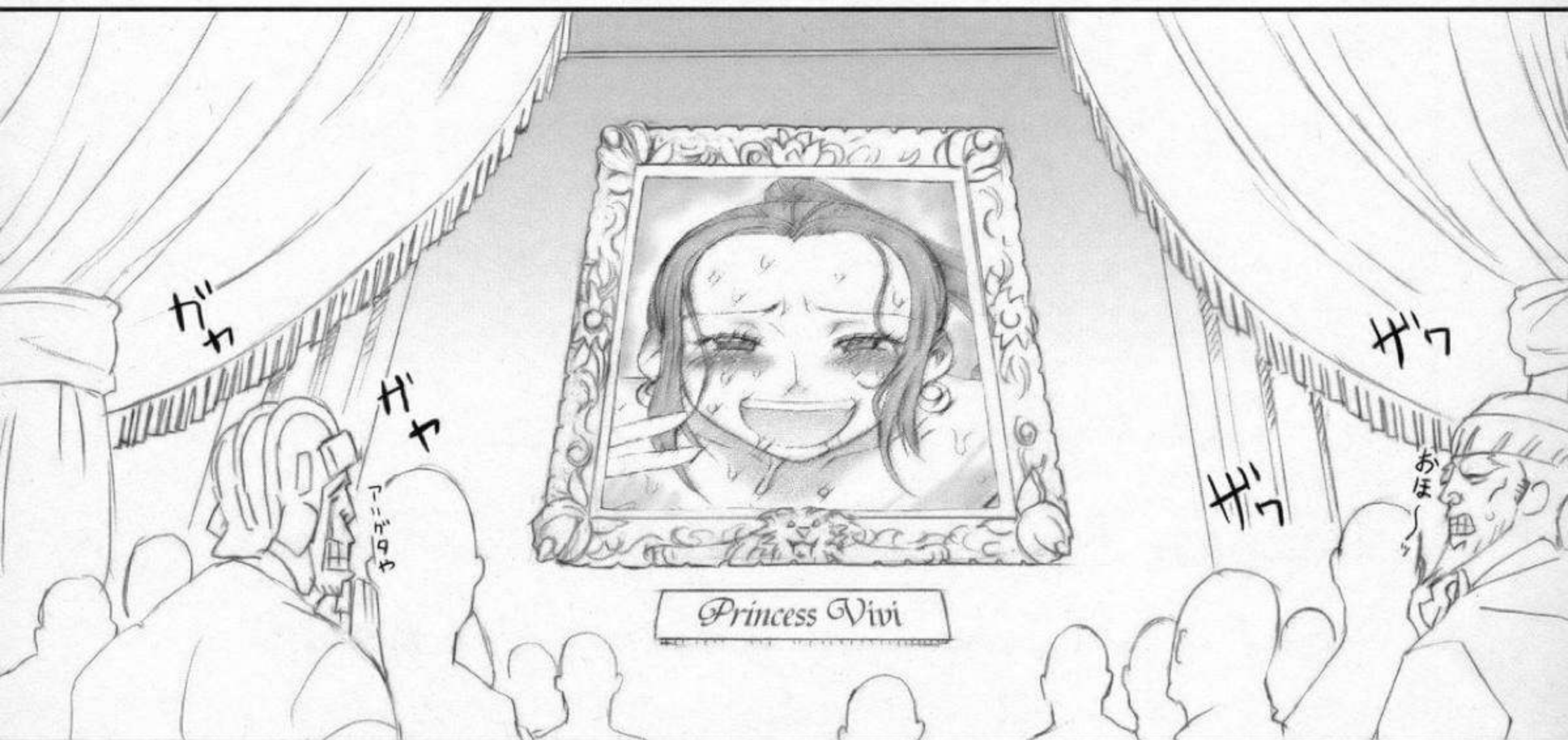
「ええ、はにかんだ、明るく愉しげな……それでいてどこか恥らう様な……」

「清楚な少女のなかに大人の色香をあわせ持った、本当に魅力的なお顔で……」

「これでビビ様のお美しさは、ますます世の噂になるでしょうなあ」

「もともとは王が撮られた写真の表情なのだとか聞きましたが？」

「ほう！ さてどうしたらこんなに良い表情が撮れるのやら……」



「うむ、なかなか良い絵が描けた様だな」

「ははっ、恐縮です……これと言うのも頂いたお写真のお陰。まことに素晴らしいお写真でした……お顔のアップ一枚しか無かったのが残念な位にございます」

「いや……全身はこの子がイヤがったものでね……なあビビ？」

「はっ、はい、済みません……」

「いえいえ謝って頂くなんてとんでもない！ しかしせめてお顔だけでも……」

「もっとビビ様の絵を描かせて頂きたいものです……おっと失礼、これは画家としての欲が出てしまいましたな」

「いや、いくらでも新しい写真は用意してやろう……なあ、良いだろうビビ？」

「え……はっ、はい、もちろん……これからも……ハアハア……ビビの写真ッ、もっと撮って下さい……ね、お父様♪」

弟、日々の落書き帳

今回、ワンピースを描くにあたり、手を慣らすために書いた落書きなどを掲載～♪
といっても、ロビンばかりですがw
穴埋めっちゃ、穴埋めですが制作背景を楽しんでいただければと…。



*落書き帳に描く時は主に水性ペンを使用します。
ステッドラーのピグメントライナー0.3が描き心地よくてお気に入りです。

まずは、なんと言っても今回の制作にあたり、不安であったのが
ロビンの顔が描けるかどうかです。
なんというか、鼻筋がゴリッと描いてあるっしょ。
ちょっとドキドキだったのよ、マジで…。
あと、鼻フック出来るのかな～？ とか色々妄想しましたがw
手慣らして描いて見ると案外、悪くないじゃない。
本編でも、ロビンよりナミの方が苦戦、何か似ね～w
髪型か？髪型なのかつ？…たぶんソコだよな～。

上記は、ユーチューブでワンピースを見ながら、チョコチョコ楽描いたものです。
いい感じの表情が何個か描けていますね…自画自賛かw

★お下品落書き～
アニメ見ながら何か描いてるんだかw、
サクサクと改造ボディを描いちゃってますね…
何も考えないとコンナの描いちゃいます♪
テキストはフィーリングで…
(掲載にあたり、若干の修正と加筆)

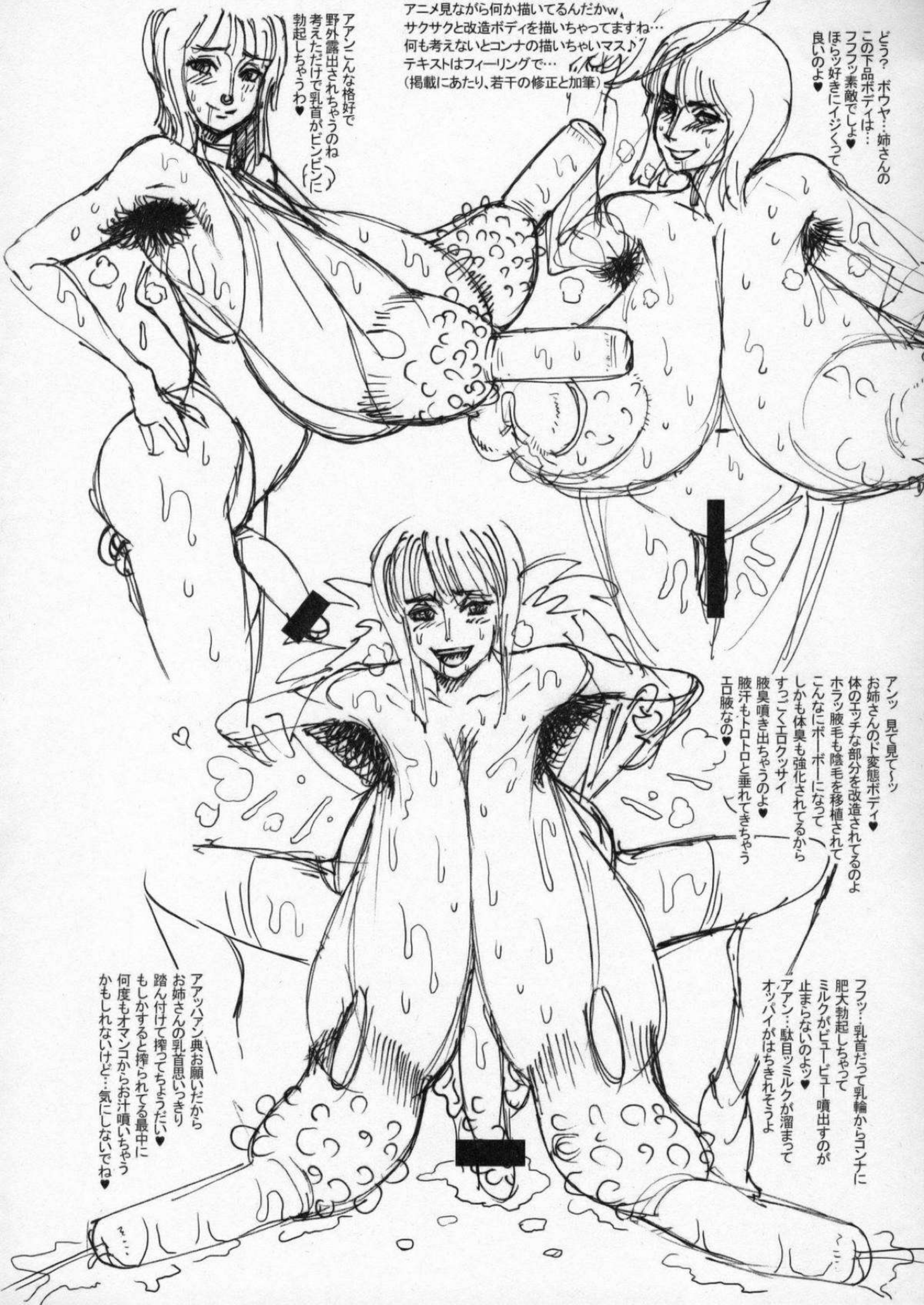
ドゥッッ…ボウヤ…姉さんの
この下品ボディは…
フワッ素敵でしょ♥
ほらッ好きにイジクって
良いのよ♥

アアン…んな格好で
野外露出されちゃうのね
考えただけで乳首がドンドン
勃起しちゃうわ♥

アッッ 見て見てッッ
お姉さんのド変態ボディ♥
体のエッチな部分を改造されているのよ
ホワッ腋毛も陰毛を移植されて
こんなにポーポーになって
しかも体臭も強化されているから
すっごくエロクッサイ
腋臭噴き出ちゃうのよ♥
腋汗もドロドロと垂れてきちゃう
エロ腋なの♥

フワッ…乳首だつて乳輪からコンナに
肥大勃起しちゃって
ミルクがピューピュー噴出すのが
止まらないのよッ♥
アアン…駄目ッミルクが溜まって
オッパイがはちきれちゃうよ

アアッアアン典お願いだから
お姉さんの乳首思いっきり
踏ん付けて搾ってちょうだい♥
もしかすると搾られてる最中に
何度もオマンコからお汁噴いちゃう
かもしれないけど…気にしないでね♥



★悪魔の実の力
 ハナハナの実の能力者であるロビン。
 その能力は身体の一部を好きな個所に
 咲かせる能力であるらしい。
 …と言う事は以下のような事も出切るのでは？

ふふっ この沢山あるオッパイから
 毎日100リットルのお乳が出るのよっ
 ホラッ どのオッパイも搾っても良いのよ
 もちろん全部搾っちゃってもイイのよお

ああ、これ以上の
 市中引き回しは許して
 下さい…主人様…

クククッ 何言ってやがるし
 王宮の家畜舎まで行く
 約束だろっが、このメス豚がッ



★悪魔の実の力はココまでッ!!
 ハナハナの実のパワーで
 腋毛を増やしたロビンさん
 さらに汗腺・アポクリン線も増やし
 まるで腋から射精するように腋汗を
 噴出してしまっ、超ド下品腋の下に
 大改造~♥

その腋の下から噴出す
 超絶エロ腋臭フェロモンに
 男共は引き寄せられ、マニアで
 あれば至近距離で射精してしまう。

ナミコレを商売に利用され
 腋臭豚アイドルとして裏デビュー

- 腋毛(腋臭付き) 1千ベリー
- 腋フェロモン吸引 5千ベリー
- 腋舐め 1万ベリー
- 腋汗(100ml) 3万ベリー
- 腋プレス 5万ベリー
- 腋コキ 10万ベリー
- 腋臭付き腋汗パッド 3万ベリー
- 腋射(オプションとして) 1万ベリー
- 出張腋臭ダンスショー 50万ベリー
(各種オプション付き)

などなど

ハア…みなさん♥
 今日は腋臭豚アイドル・ロビンの
 腋臭ダンスショーによるぞッ♥
 ロビンのエロ腋臭フェロモンを
 心行くまでタップリと堪能して
 行って下さいね♥

アァンッ♥♥♥
 皆様に見られてるだけで
 腋汗と腋臭がどどん
 噴いてきちゃいますわ♥



オホオオオオオ
 イクッイクッイクウツ
 射乳アクメしちゃうツ
 みんな見ててツ、ロビンが
 射乳してイッちゃうと「ロッ」
 オオオオオオオオオ
 イグウウウウウツ♡♡♡

★ダブル大噴射
 ゲス女、ロビンさんは自分の性欲を
 満足させる為なら、部屋でも野外でも
 どこでも大噴射姿を披露しちゃうぞツ

オオツ 駄目よッスゴイッ！
 ウンコ止まらないのッ
 コナにッ出てるけど
 まだ5分の1も出てないのよッ
 ああッ 見て大量脱糞するトコ
 脱糞してイッちゃうと「見てえ
 ンホオオオオオオツ♡♡♡ト
 ウンコオ——ツ♡♡♡

一大腸を長くし改造され
 超大量脱糞出切るように...

★さてさてこんな落書ですが楽しんで頂けたら嬉しいです
 どうですかね、こんな方向性も個人的には好きですよ！
 まあ、なかなか掲載したり発表したりするチャンスがないのですがね。
 こういう感じの落書が溜まったら、またなんか発表出切れればイネ～。

★★あとがき★★

☆カクガリ兄☆

さて2008年も終わろうとしています。
ま、世間的にも自分的にも、年末というと
「ホント今年は早かったわ～」ってのが
恒例のお約束ワードですが
(類似に「今年の風邪はしつこいわ～」等)
個人的には、体調崩して長期入院したり
色々悩みすぎて、ポキッとココロが折れてみたり
etc, etc……
と、イベント色々、思い出様々で
早かったようで、久々に永く感じた一年でした。
(いや、悪い事しかなかった訳じゃないんですがw)
まあ、ピンチの時こそ、周囲の友達のありがたさが
分かる訳で。
得た物も大きく、勉強になった年でした。

あとはこの本が、無事に出てくれれば
今年と言う事ナシ、ですよ。

んでは、また来年・皆様良いお年を～♪

(平成仮面ライダー10周年が、予想以上に
『祭り』になりそうで楽しみデス☆)

☆カクガリ弟☆

さて、今回も修羅場ですたよ♪

今回の制作にあたっては、ワンピースに詳しい…
もとい、ワンプのエロネタ描かせたら右に
出る者無しのまとうさんから
(いつも股間が、お世話になっておりマッスル)
ニコ・ロビンの魅力に関してご教授して頂きました。
ええ、エロイご教授頂きましたよ～。
ホントありがとうございます。

今後の展開としては
2008年はコミケ以外のイベントなどに
参加する事が少なかったので
出切るなら、色々と参加したいと思います。
当面は、「にくけつ」と「ふたけつ」ですかね～。
申し込み期限が過ぎてなければですが…。
(入稿後、確認して参ります)

ネタの方向としては、もちよつとワンシチュに
偏ったものを、デブとか筋肉とかウンコとか
鼻とか腋とかに特化した感じの～。

ちよつと、突き詰めてみたい感じがする今日この頃です。

ワンプはまた、やってみたいね。
あと、チュンリの続編とか…少年とか…

ではでは、ご購入いただいた皆様ありがとう御座いました。
少なからず、皆様の股間を暖められたら本望でゴザイマス。

来年もよろしくお願ひしマッスル。



Niku Ringo (Beef&Apple)

☆Staff☆
カクガリ兄
カクガリ弟
(合わせて カクガリ兄弟)

☆Presented by☆
肉りんご (Beef&Apple)

☆Title☆
NIPPON PRACTICE2

☆同人誌印刷☆
PICO様
(いつも大変お世話になっております…今回は特に…)

☆奥付☆
(ご意見ご感想・要望・お仕事などは下記にお願いします)

☆ホームページアドレス(ブログ)☆
<http://kgbros.blog37.fc2.com/>

☆メールアドレス☆
kgbrosbros@yahoo.co.jp

☆注意☆
本誌に記載する全ての図版・文章を、許可なく
複製・転載・ネットで公開及びアップロードする事を禁じます

NIPPON PRACTICE 2



Presented by
NikuRingo(Beef&Apple)

2008/12/30 In
Winter of Comiket

For ADULT only